

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 看護学科 | | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|---|------------|-----------------|--|---------------------------------|-----------------------|---------------|
| 科 目 名 | 治療論Ⅱ(微生物学) | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年生 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | |
| 担 当 教 員 | 三好 伸一 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 微生物は多種多様で、ヒト、動植物と密接な関係を持っている。ヒトと動物に関わる微生物について概略を知り、微生物を制御する方法、開せ印象発生の仕組みを理解する。感染予防の意義と感染予防や予防活動について学び、感染対策における看護の役割へ繋げて考えられるようにする。また、感染に関するニュース、身近な話題に興味・関心を持ち、病原体がどのように感染症の発祥につながり人々の健康を脅かすのか理解を深める。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 小テスト、出席並びに課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 系統看護学講座 専門基礎分野4 微生物学 医学書院 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1.微生物学を学ぶ意義について述べる事ができる 2. 細菌の形態と特徴について述べる事ができる | 系統看護学講座 専門基礎分野4 微生物学 医学書院 | 教科書の該当箇所を読んでおく | |
| | 講義形式 | 各コマにおける授業予定 | 微生物と微生物学 細菌の形態と特徴 | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1.細菌・真菌の性質について説明できる | 系統看護学講座 専門基礎分野4 微生物学 医学書院 | 教科書の該当箇所を読んでおく | |
| | 講義形式 | 各コマにおける授業予定 | 細菌の性質 真菌の性質 | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1. 原虫・ウイルスの性質について説明できる | 系統看護学講座 専門基礎分野4 微生物学 医学書院 | 教科書の該当箇所を読んでおく | |
| | 講義形式 | 各コマにおける授業予定 | 原虫の性質 ウイルスの性質 演習問題(1) | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1. 感染源・感染路について説明できる | 系統看護学講座 専門基礎分野4 微生物学 医学書院 | 教科書の該当箇所を読んでおく | |
| | 講義形式 | 各コマにおける授業予定 | 感染と感染症(1) 感染源・感染経路からみた感染症 | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1.感染感染の機構について説明できる | 系統看護学講座 専門基礎分野4 微生物学 医学書院 | 教科書の該当箇所を読んでおく | |
| | 講義形式 | 各コマにおける授業予定 | 感染と感染症(2) 演習問題(2) | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|-------------------------------|---------------------------------|-------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1. 自然免疫・獲得免疫の仕組みについて説明できる | 系統看護学講座 専門基礎分野4 微生物学 医学書院 | 教科書の該当箇所を読んでおく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感染に対する生体防御機構(1) | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1. 抗原と抗原特異免疫について説明できる | 系統看護学講座 専門基礎分野4 微生物学 医学書院 | 教科書の該当箇所を読んでおく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感染に対する生体防御機構(2) 演習問題(3) | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1. 感染症の予防について説明できる | 系統看護学講座 専門基礎分野4 微生物学 医学書院 | 教科書の該当箇所を読んでおく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感染症の予防 | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1. 感染症の現状と対策について述べる事ができる | 系統看護学講座 専門基礎分野4 微生物学 医学書院 | 教科書の該当箇所を読んでおく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感染症の現状と対策 演習問題(4) | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1. 感染症の検査と診断について説明できる | 系統看護学講座 専門基礎分野4 微生物学 医学書院 | 教科書の該当箇所を読んでおく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感染症の検査と診断 | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1. 化学療法の基礎および主要な化学療法について説明できる | 系統看護学講座 専門基礎分野4 微生物学 医学書院 | 教科書の該当箇所を読んでおく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感染症の治療 演習問題(5) | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1. 主な病原細菌の特徴について説明できる | 系統看護学講座 専門基礎分野4 微生物学 医学書院 | 教科書の該当箇所を読んでおく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 病原細菌と細菌感染症(1) | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1. 主な病原細菌の特徴について説明できる | 系統看護学講座 専門基礎分野4 微生物学 医学書院 | 教科書の該当箇所を読んでおく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 病原細菌と細菌感染症(2) 演習問題(6) | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1. 病原真菌と真菌感染症について説明できる | 系統看護学講座 専門基礎分野4 微生物学 医学書院 | 教科書の該当箇所を読んでおく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 病原真菌と真菌感染症 | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 1. 病原ウイルスとウイルス感染症について説明できる | 系統看護学講座 専門基礎分野4 微生物学 医学書院 | 教科書の該当箇所を読んでおく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 病原ウイルスとウイルス感染症 | | |